

さいたま

Nursing

2021.7.27 NO. 128



花
手
水

期間限定で開催されている、行田の『花手水week』。
「参拝者に癒やしを」と行田八幡神社で始まり、その取組が
市内の商店や民家にも広がり、見る人の心を癒やしてくれます。

行田八幡神社の花手水 (提供: 一般社団法人行田おもてなし観光局)

会員数 24,039 名 (2021.5.31 現在)

保 健 師	391 名
助 産 師	904 名
看 護 師	22,164 名
准 看 護 師	580 名



埼玉県看護協会ホームページ
<https://www.nurse-saitama.jp>

特集

ともに、つくる、「看護」

“気づき”の力で地域を支える 訪問看護師の仕事 P6~7

- ❀ ごあいさつ P2
- ❀ 令和3年度 新体制
通常総会／令和3年度埼玉県看護協会会長表彰受賞者 ... P3
常務理事ごあいさつ P4
支部長ごあいさつ P5
- ❀ お知らせ P8

ごあいさつ



公益社団法人埼玉県看護協会
会 長
松田 久美子

会員の皆さまには、日頃から埼玉県看護協会の運営、事業推進にご支援いただき感謝申し上げます。

令和2年度は、COVID-19対応に明け暮れた1年でした。昨年の春、国内で初めて「緊急事態宣言」が発出され、治療薬・ワクチン・個人防護具のない中、皆さまは勇敢に日々の業務に従事されました。その後、感染は第2波・第3波に及び、感染拡大と共に令和3年が明け、第4波は変異型の出現に翻弄されました。現在、ようやくワクチン接種の見通しが立ちましたが、まだまだ予断を許さない状況の中、日々のご活動を続けられる皆さま方に、心より敬意と感謝を申し上げます。

令和3年度通常総会は、感染拡大防止のため昨年に続いて委任状による議決権行使を主とした縮小開催といたしました。来賓のご出席はお控えいただき、「埼玉県看護協会会長表彰」には任意で8名の方がご参加くださいました。25名の受賞者の皆さま、おめでとうございます。来年こそは、会員が一堂に会する通常総会を開催したいと願います。

さて、今年度の事業につきましては理事会の承認のもと、活動を始めておりますが、感染拡大防止を図ることを思慮し、教育体制は昨年より準備したオンライン研修を主に実施しております。昨年は休講いたしました認定看護管理者教育はセカンドレベルを皮切りに、サードレベル・ファーストレベルの順に、また実習指導者講習会も感染拡大防止対策を施して開講いたします。ぜひ、安心して研修・学会等にご参加ください。役職員一同、新体制のもと心一つに看護協会の役割を果たしてまいります。



副会長
山中 富美代

さいたま市民医療センター
看護部長

少子高齢社会による人口構造の変化、COVID-19の対応・対策等、社会が複雑で多様化する中で看護職に求められる役割と期待はますます大きくなり、これまで以上に地域のあらゆる場で看護職の活躍が望まれています。

2025年そして、その先の2040年を見据え看護職の役割拡大、看護の質の向上、看護職がやりがいをもって働き続けられる環境づくりの推進等、様々な分野で看護を提供するために地域と連携し、看護協会の活動に尽力していきます。



副会長
柿澤 由紀子 (新任)

深谷赤十字病院
看護部長

COVID-19により、社会の環境や生活様式が変化し、看護職をはじめとした医療従事者の方が多様な活躍をされています。その中でも看護職は、病院・訪問看護・地域医療機関や福祉・介護施設等の多岐にわたり「看護の力」が求められ、さらなる活躍が期待されています。しかし現場では、様々な問題を抱えながらご苦労されていることと思います。看護職が力を発揮できるよう、埼玉県看護協会の役割や事業を理解し、少しでも皆さまに貢献できるよう尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

令和3年度 新体制

通常総会

埼玉県看護協会は、6月19日に令和3年度通常総会を開催しました。昨年同様に、COVID-19対応のため規模を縮小しての実施となりましたが、議事は滞りなく進行され、各議案とも原案どおり可決されました。

◎委任状17,532通、出席者40名（定足数11,871名）

- 報告事項 1** 令和2年度事業報告
議決事項 1 第一号議案（承認）
 令和2年度決算報告及び監査報告
報告事項 2 令和3年度重点事業及び事業計画
報告事項 3 令和3年度収支予算
議決事項 1 第二号議案（承認）
- 令和3年度改選役員及び推薦委員の選任について
 - 令和4年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選任について



◎令和3年度執行部体制

会 長	松田久美子
副 会 長	山中富美代 柿澤由紀子 新
専務理事	澤登 智子
常務理事	各務 初恵 黒田 京子 佐藤 啓子 新
職能理事	田邊奈緒子(保) 谷島 春江(助) 細谷 美穂(看Ⅰ) 林 晴美(看Ⅱ) 新
地区理事	星野 純子 小川裕美子 金澤千恵子 新
准看護師理事	大家 圭子
監 事	齋藤 栄子 阿部 大輔 村木 京子

令和3年度 埼玉県看護協会長表彰受賞者

埼玉県看護協会会員として20年以上在籍し、協会業務の向上・発展に功績のあった25名の方が埼玉県看護協会長表彰を受けられました。おめでとうございます。

北原 良子
秩父看護専門学校
徳世 良重
個人会員
山浦 有里
東松山医師会病院
岡田美智栄
丸木記念福祉メディカルセンター
松本千恵子
埼玉医科大学病院
平山 和枝
埼玉医科大学国際医療センター
石塚 洋子
川越リハビリテーション病院

長島 環
上福岡腎クリニック
池田 光子
埼玉医科大学総合医療センター
小野寺由美子
埼玉西協同病院
鈴木 浩美
西武文理大学
新井 利江
北里大学メディカルセンター
小林 悦子
えがりて 吹上苑
中田 尚子
埼玉県立小児医療センター

皆島 悦子
さいたま赤十字病院
砂崎 和子
さいたま市民医療センター
亀森 康子
自治医科大学附属さいたま医療センター
庄野 順子
川口市立医療センター
千葉富士子
戸田中央産院
四方田寿子
埼玉協同病院
田島美奈子
春日市市立医療センター

受賞された皆さま
おめでとうございます

森岡 則子
丸山記念総合病院
工藤美奈子
三郷中央総合病院
瀬戸由紀子
越谷市立病院
松元智恵子
獨協医科大学埼玉医療センター

常務理事ごあいさつ



専務理事 澤登 智子

看護協会では昨年よりCOVID-19対策を優先的に取り組む重要課題としてきました。その活動では保健・医療・介護・障害者施設等々の多職種との協働、及び行政との連携は大変重要でした。また各職域における看護職間の連携の力は対策を進めるうえで重要な鍵になったように思います。災害とも捉えられる感染症の拡大時において、看護専門職に向けられる信頼と役割への期待の高さは皆さまも実感されたのではないのでしょうか。今後も様々な領域で活躍する看護職が手をつなぎ、地域の健康を守る看護を提供していくことができるよう、会員の皆さまのご支援・ご協力をいただきながら協会運営を進めてまいります。



常務理事 各務 初恵

- 埼玉高齢者介護研修センターの管理・運営
- 協会立訪問看護ステーション
- 災害看護対策事業

近年各地で豪雨災害や地震が起きています。災害支援ナースは被災者への支援、現場の看護職への支援と活動範囲に広がりが求められています。さらに、感染管理（感染対策）への支援が重要視されています。災害看護事業に対する期待に応えられるよう努めてまいります。また、訪問看護ステーションの果たす役割を意識し、住み慣れた場所で安心した生活が送れるよう看護を提供してまいります。

埼玉高齢者介護研修センターでは、「看護学生実習指導者講習会」「介護職研修」を企画しております。感染拡大防止に努めながら進めてまいります。



常務理事 黒田 京子

- 継続教育（一般研修）
- 認定看護管理者教育
- 看護研究学会
- 認定看護師の資格取得・派遣事業

昨年度はwithコロナに対応した研修の在り方を検討し、オンライン研修を導入してまいりました。本年4月からは、研修情報管理システム（マナブル）を導入し、研修の検索・申込・入金・受講・アンケートまでの管理を一元化し、会員の皆さまにとってより簡便に研修が受講でき、ご自身で研修履歴を管理できるよう環境を整えてまいりました。これからも、皆さまの声を聞きながら新たな時代に即した人材育成に取り組んでいきたいと考えております。



常務理事 佐藤 啓子（新任）

- 埼玉県ナースセンター
- 看護職の就労環境改善事業
- 心の健康づくり支援事業
- 助産師出向支援導入事業

新たに常務理事に就任いたしました。COVID-19感染拡大の中、看護職の就業促進、定着は重要な課題となっています。感染拡大の状況により、就職相談、復職支援研修などの内容、方法の検討を行い、開催してまいります。また、コロナワクチン接種の対象拡大にともない業務に従事を希望する方々のe-ナースセンター登録数が増加しています。未就業の看護職の就業に必要な支援に取り組んでまいります。

支部長ごあいさつ

支部長の皆さまより、各支部の会員さま宛の
メッセージが届いております



左から第1～9支部長

第1～第9の各支部は、看護の質の向上・看護職が安心して働き続けられる環境づくり・地域医療の推進を図ること等をもって、県民の健康な生活の実現に寄与するという目的達成に必要な事業を行うために設置されています。

第1支部

柿間 真由美 〈埼玉よりい病院〉

今年度より第1支部支部長を務めております。

平素より会員の皆さまには、支部活動にご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

支部の活動ではCOVID-19の影響を受け、様々な行事の開催が中止となり、残念な気持ちです。今後、新たな活動方法を探りながら以前とは形式を変え、支部活動を行えるよう、役員一同一丸となり頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

第2支部

島田 雅子 〈埼玉医科大学国際医療センター〉

会員の皆さまには、第2支部の活動にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。COVID-19が長期化し、さらに変異株の拡大の兆しが見えている中、会員の皆さまはそれぞれの場でご活躍されていることと存じます。昨年は活動が自粛となりましたが、令和3年度は安全を優先しオンライン等を活用しながら事業が推進できるよう努めてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

第3支部

筒井 美帆 〈武蔵野総合病院〉

第3支部長を拝命いたしました。

今年度も新たな役員、各委員の方々と協力し事業を進めて参ります。医療を取り巻く環境も厳しいですが、会員の皆さまのご健闘とご活躍を心よりお祈り申し上げるとともに、今後も支部運営にご支援、ご協力をいただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

第4支部

高野 紀子 〈並木病院〉

毎日の恒常業務に加えて、コロナワクチン接種などで大変だと推察いたします。まん延防止措置が解除されないため、全く気を緩めることもできず心身ともに疲労していると存じます。しかし、今は国民の命と健康を守る事が私たちの役割と使命であるため、皆で協力して頑張りたいと思います。

第5支部

長澤 明子 〈上尾中央看護専門学校〉

第5支部会員の皆さま、日頃より支部活動に、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

加えて、長期蔓延しておりますCOVID-19は、ワクチン接種が開始され、新たな局面を迎えております。最前線でご尽力されている皆さまにお礼申し上げます。

今年度は、感染防止を考えながら看護研究発表会、研修会を実施いたしますので、引き続きご支援・ご協力をお願いいたします。

第6支部

佐山 順子 〈彩の国東大宮メディカルセンター〉

昨年・一昨年はCOVID-19禍ということで、思うように支部活動ができませんでした。今年度は、会員の皆さま向けにWEB開催にて、2つの活動を予定しております。9/11(土)に「在宅医療におけるACP」をテーマに教育セミナーを、11/27(土)には看護研究・成果発表会を実施いたします。少しでも皆さまのお役に立つならば幸いです。

第7支部

岡田 美智子 〈埼玉協同病院〉

今年度より、第7支部の支部長を担うことになりました。

現在、COVID-19禍により支部活動が制限されています。今後はリモートを活用しながら、少しずつ活動が再開できますよう支部役員で一体となり、実施していきたいと考えております。これからも支部活動にご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

第8支部

藤城 厚子 〈蓮田病院〉

このたび、第8支部支部長の任に就かせていただきますことを大変光栄に存じます。

COVID-19禍における支部活動ではありますが、看護職の皆さまの業務への意欲が低下しないように、少しでも気持ちを支えられる活動ができればと考えております。よろしくお願いいたします。

第9支部

加藤 好江 〈みさと健和病院〉

いつも第9支部の活動にご協力いただきありがとうございます。長く続いているCOVID-19禍で、支部としての活動をどのように行っていくかを検討しています。今年度は方法も新たに、交流会や研究発表会を行う準備を始めました。ご参加と共にこれからも支部活動へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



Interview

TMGあさか訪問看護ステーション

TMGあさか訪問看護ステーション
TMG療養デイサービスあい
TMGケアプランセンターあさか

統括所長
大橋 浩美 氏
(訪問看護師歴：24年)

●地域 朝霞市、志木市、新座市(関越自動車道を境に朝霞市側)、和光市の一部
●看護師 訪問看護11名・療養デイ(通所)6名 ●介護福祉士 3名 ●事務 2名
●利用登録者 130名 ●訪問数 630件/月

“気づき”の力で地域を支える

訪問看護師の仕事

TMGあさか訪問看護ステーションを取材。スタッフの“気づき”が次の展開を創ると話される大橋所長に、地域で暮らす人々の「その人らしくいきる」を支える訪問看護師の仕事について伺った。

また、研修や退院前カンファレンスがオンラインでできるようになったのは良い変化だったように感じています。オンライン会議により、都内の病院から地域に戻られる方の受け入れ準備をしっかりと整えることができました。

Q4 訪問看護師の育成はどのようにされていますか

訪問看護師を希望される方は、提供したい看護が明確な方が多いです。自立心、向上心も強い。管理者として、その気持ちを大切に伸ばしていくことが大事だと考えています。

訪問先で困ったことがあれば、例えば小さなことでも連絡・相談ができる関係づくりも欠かせません。訪問先では、その場で解決しなければいけないこと、事務所に戻ってからの相談で足りることの両方が起こります。重要なのは、相談するべきことだと気が付くことです。

新人訪問看護師は、ある事象が利用者様にどんな影響を及ぼす可能性があるのか予測することが不得手です。ですから、困ったらまずは一報をいれるように指導しています。相談のタイミングは、追々経験則で学んでいくものではないでしょうか。

Q5 新卒の方を採用していますか

実習にきた学生で人柄が分かっていたこと、さらに介護職として社会人経験もある方だったので来てもらいました。新卒者の受け入れ準備として、看護協会の「新人訪問看護師教育担当者研修」でアドバイスを受け、どういった訪問看護師を育てたいのかという理念(P7上参照)を立てました。作ってみたところ、スタッフの皆が日々体現していることを言葉に置き換えたものになりました。

また、訪問看護ステーション協会の「新卒者等訪問看護師育成プログラム」を基に教育計画を立てました。私たちは、新卒者に限らず、本人が安心して独り立ちするまでは複数人での訪問を行っています。訪問看護をやってみたいという気持ちがある方にはぜひ来ていただきたいです。一日体験などをしていただいても良いかもしれません。

Q6 TMGあさか訪問看護ステーションの特色を教えてください

地域密着型の療養通所介護事業「TMG療養デイサービスあい」を併設していることです。一般のデイでは受け入れが困難な要介護4、5相当の方(頻繁な吸引や点滴等が必要な状態、癌末

Q1 訪問看護師の仕事について

訪問看護師は、基本的には一人で利用者様のお宅を訪問します。皆さん退院時に何らかの療養の意向をお持ちです。退院前カンファレンスで希望を伺い、ケアの提供を行います。中には在宅療養に移行され、主治医の訪問診療・訪問看護師のケアを受け、在宅でもきちんと医療を受けられるのだと安心されることで「最期まで家にいたい」と希望が変化される方もいます。COVID-19禍での面会制限が影響しているのか、最近ではお看取りまでお手伝いさせていただくことが増えています。

Q2 訪問看護師の一日を教えてください

朝はミーティングからスタートします。午前中に2～3件、お昼を挟んで午後にも2～3件程度訪問。16時半には事務所に戻って記録をし、非常勤の方はほぼ残業はなく終業します。

今後ICTの導入が進めば、記録についてはさらに時間を短縮することが可能になります。

8:30	朝会
9:20	訪問へ出発(2～3件)
12:30	お昼休み
13:30	訪問へ出発(2～3件)
16:30	事務所に戻り、記録・報告
17:00	終了

Q3 COVID-19禍で変化したことはありますか

感染が拡大した当初は、わけが分からないまま試行錯誤の日々でした。個人防護具などが不足する中で、手探りで訪問手順を考え、「うつさない、もらわない」ように必死でした。

今年からは、感染管理認定看護師による定期的な施設の見回り、さらに事務所に一步出てから戻るまでの感染予防の手順を明文化しました。朝会の際にスタッフ全員で唱和してから出発しています。これまでも感染予防は行っていましたが、エビデンスが明確になることで、習慣としての手洗い・消毒から一歩踏み込んで対策できていると思います。

Mission

地域貢献のあり方

Vision

目指す未来の姿

Value

行動指針

「この場所(ちいき)で、その人らしくいきる」を支えるcareを創造します。「いきる」とは生きる(生死・人生)と生きる(活用・有効・生き活きと)の意味がある。「care」とは、世話や配慮、気配りなどを意味し、狭い意味では看護・介護をいう。「創造」とは、新しいものを産み出すこと。それは日々のcareの気づきから産み出される。利用者が望む生活を実現するため、ないものは創り出さなければならない。

- すべての年齢・疾患・人種・性別・健康状態の方々にcareします
- 24時間365日を支えるcareを提供します
- 利用者が求める多様な生活を実現するため、地域包括ケアを体現する多機能化を推進します
- スタッフ自身も「この場所で、その人らしく生きる」が実現できる職場を目指します

利用者を「家族」と思うcareの実践

期状態等の重度な方)にご利用いただけます。

訪問看護師が介入することで利用者様の状態がよくなる一方、介護の時間が長くなり介護者(ご家族)が疲れて先に倒れることを何度も経験しました。訪問して看護ケアを提供するだけではなく、介護負担の軽減が必要だと強く感じていました。そんな折に、母体病院の移転の話があり場所の確保がなかったため、療養通所施設を設立しました。

利用者様には訪問看護と同等のケアを、ご家族には6～7時間程度の時間を提供することが可能になりました。また、1時間前後の滞在となる訪問看護とは異なり、利用者様の生活する姿を身近にすることで、個別性に深く寄り添ったケアへと変化した例もありました。

今年度は、療養デイにおいて日中一時支援事業を開始したいと考えています。COVID-19で小児のレスパイト入院ができなくなり、ご家族の負担が大きくなっています。スタッフから「ベビーちゃん預かれないのかな」という声があり動き出した事業です。私どもであれはレスピレーターがついている小児であっても受け入れができます。

その他、お泊りの要望などもあり、看多機開設なども視野にはあります。まだまだ夢や目標の段階ですが、そんな未来を描けるのもある程度の規模がある私たちの特色といえるかと思います。

Q7 今後の展望をお聞かせください

理念である「careを創造する」は、事業の展開など大きな事も含みますが、根本は日々提供している看護・介護ケアにあります。同じ利用者様であっても、先週と今週が同じではありません。今日、その方にはどんなケアが最適であるのか、それには「気づき」が欠かせません。ほんの小さな仕草や、言葉の端々にまで気を配ることが必要になります。訪問看護の難しい部分であり、同時に大きなやりがいはいかにあるのではないのでしょうか。

「利用者様に十分な支援をするのにココが足りない」「ご家族が困っているのはコレがないからだ」そんな「気づき」が療養デイや小児などの一時預かり、お泊りの事業などに繋がっていきます。私どもの事業は、訪問した看護師が得た「気づき」から芽を吹き育ててきたものばかりです。私はその「気づき」を捉え、大事にして発展させていきたいと考えています。



取材MEMO

取材中印象的だったのが、スタッフの間で交わされる言葉に活気がみなぎっていたこと。マスク越しでもわかる笑顔で、皆さん訪問先へ出発していました。

協会立訪問看護ステーションに訊く

訪問看護ステーションで 求める人材

Q1. どんな人材を求めていますか

- 利用者様やご家族にじっくり向き合い、一緒に考えて行動できる方
- 自律的な看護実践能力を身につけるために自己研鑽を続けられる方
- 自分の言動の振り返りができる方

Q2. 教育体制とキャリア展開を教えてください

- 看護協会やステーション協会の訪問看護基礎研修、財団のeラーニング、精神科算定基礎講習等を計画しています
- OJT(同行訪問・院内研修)を充実させていて、一人立ちまでしっかりフォローします
- 看護経験年数や訪問看護年数に応じて協会のラダーを基にキャリア研修を行います
- 実習指導者研修、管理研修、認定看護師教育課程へのステップアップができます
- 介護支援専門員、相談支援専門員等の資格取得が可能です

Q3. 訪問看護を目指す方にメッセージを

ご利用者様、ご家族の人生に寄り添い、満足のいく生活を送ることができるよう支援しています。訪問看護に興味がある方は、ぜひ一度訪問看護を体験してみてください。私たちと一緒に、ご利用者様の生活の場で看護を提供するプロである訪問看護師として働きましょう。訪問看護は、あなたの人生も豊かにしてくれます。

《協会立訪問看護ステーション》

県内の7箇所訪問看護ステーションを運営しています

こんなときは、看護協会にご相談を！

准看護師進学支援

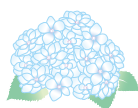


本会HPに特設ページを開設しました。准看護学生・准看護師の皆さんの「いつかは、看護師に！」という思いの実現を後押しします。看護師資格を取得して、未来の可能性を拡げてください。



◀ 埼玉県看護協会ホームページ <https://www.nurse-saitama.jp/>

あじさいルームのご利用について



看護職のためのカウンセリングルームです。モヤモヤする、なんとなく元気がでない…そんな時に、なんでも話せる「あじさいルーム」をご利用ください。無料、対面・電話相談を選べます。お申し込みは本会HPにて受け付け。相談の秘密は厳守します。

感染症予防対策相談ご予約受け中



感染管理認定看護師に予防対策についての相談ができます！医療・介護・福祉施設におけるクラスターの発生を予防しましょう。相談は、電話・オンライン（Zoom）・メールが選べます。相談料無料、まずはお気軽に本会HPにてお申し込みください。

〈福 利 厚 生〉 サンリオピューロランド無料ご招待

7月1日(木)～8月31日(火) 平日



感染症予防対策のため、**ご来場の際にはオンラインでのご予約が必要**となります！本会会員様専用の「利用申請書」と「電子会員証」をお持ちになってください。

看護管理者の皆さまへ 埼玉県看護協会メーリングリストにご登録ください

各病院、施設の看護管理者様にいち早く情報をお届けいたします。ご登録がお済みでない方、情報に変更がある方はこの機会にお申し込みください(任意)。

メーリングリスト使用例

- ・災害時(感染症拡大を含む)の緊急連絡
- ・防護具等の物資配布のご案内
- ・研修等の本会事業のご案内
- ・その他、本会からの重要かつ緊急のご連絡

登録・変更は本会ホームページで受け付け中→



令和3年度広報委員会メンバーご紹介

会員の皆さまの、知りたい・見たいに
お応えできるように広報誌を編集してまいります

- 担当常務理事 … 黒田 京子
- 委員長 …… 佐々木 智子
- 副委員長 …… 遠藤 幸子
- 委員 …… 朝穂 美記子 / 原 美保 / 似内 明子
山崎 みつ江 / 吉田 好美 (事務 関根憲英)



佐々木



遠藤



朝穂



原



似内



山崎



吉田



黒田

編集後記

広報委員会

「やまない雨はない」「夜明けは必ずくる」「負けないでほろそこにゴールは近づいている」このような言葉を心に抱いて走り続けてきました。しかし、COVID-19はとどまるところを知りません。ワクチン接種により一日も早く集団抗体ができることを期待しています。一方で、この状況から発見したこともあり。オンラインによる研修、学会、面会、面接等これまでは試行すらしなかったことです。「変化に適応したものが生き残る」時代に突入しています。今回の特集の訪問看護師さんの“気づき”から生まれる看護のように「今、対象者に何が起こり、私たちにできることは何か？」という感性を持って変化に適応していきたいです。それでもやはり会場で友人に会いたい、ご家族に面会してもらいたい気持ちも強くあります。今回も紙面作成にご協力をいただいた皆さまに心からお礼申し上げます。

広報誌「さいたま」128号はいかがでしたか？ アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントが当たります。奮ってご参加ください。

- ◆ 応募締切: 8/31(火) まで
- ◆ 抽選で30名様にクオカードをプレゼント

▼アンケート内容

- 1 興味を引いた記事はありましたか。
- 2 看護職の“仕事”について「知りたい仕事」がありましたら教えてください。
- 3 最近、身の回りで起きた良いことがあったらお聞かせください。
- 4 本号へのご意見、ご感想をお聞かせください。
- 5 プレゼントに応募される方は、お名前、郵便番号、住所をご入力ください。



回答はこちら



QUOカード
500円分
プレゼント!!